

PFASの飲料水濃度規制値

米で大幅な強化案

日本適用なら基準超え続出

米環境保護庁（EPA）は14日、健康への影響が懸

念されている有機フッ素化合物PFAS（ピーフ

アス）について、法的強制力を伴う飲料水の規制値案を公表しました。PFASのうち6種類の物質が対象で、PFOS（ペル

フルオロオクタンスルホン

酸）とPFOA（ペルフル

オロオクタン酸）について、米国の規制値案を越

え続けている。PFOS・PFOAを別々に測定した929地点のうち、少なくとも450地点で基準を超えている。奈良では19地点すべて、大阪では76地点のうち71地点で、茨城では23地点のうち18地点で、東京では97地点のうち70地点で超えています。

回、両物質をそれぞれ同4ナギと大幅に厳しい規制値を設定しました。PFNA、PFHxS、PFBS、HFPO-DA（通称GenX）については混合物として評価します。

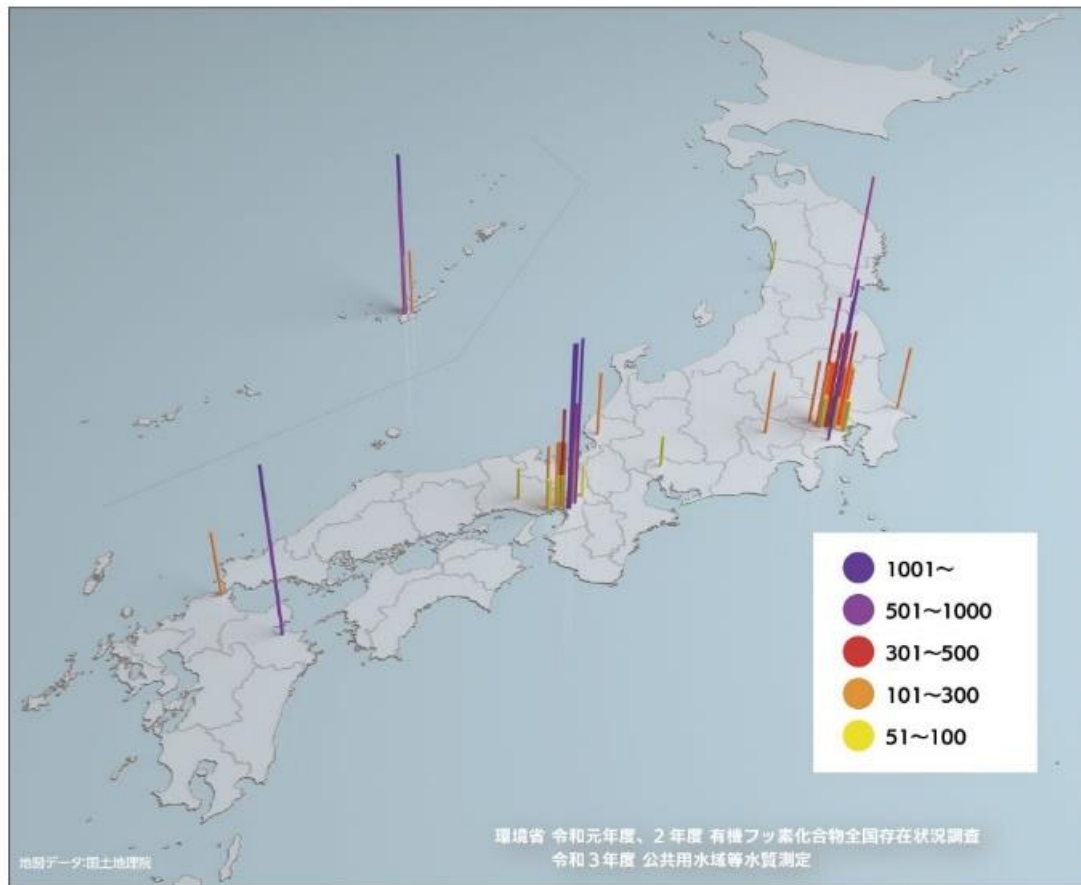
EPAは、実施されれば、数千人の死亡、数万人の深刻な病気を防げるとしています。日本では、暫定目標値としてPFOS・PFOAの合計を同50ナギとしています。環境省調査（21年度）では31都道府県1133の測定地点のうち13都府県の81地点で目標値を超えました。

同庁は、飲料水の健康勧告値としてPFOS・PFOAの合計で1リットルあたり70ナギと定めています（1ナギは10億分の1ナギ）。今

水についてこれらのPFASを監視し、濃度を公表しなければなりません。基準を超えた場合は飲料水への対策が求められます。

正式に決まれば、公共用水についで、米国の規制値案を越えているかを調べたところ、PFOS・PFOAを別々に測定した929地点のうち、少なくとも450地点で基準を超えています。奈良では19地点すべて、大阪では76地点のうち71地点で、茨城では23地点のうち18地点で、東京では97地点のうち70地点で超えています。

PFOS・PFOA 指針値 超えた地点 (地下水・湧き水)



上位15地点 ※3か年のデータより高い値に並べています	PFOS+PFOA 国の暫定指針値 50 ナノグラム / 1 ㍓
大阪市	5500
摂津(大阪)	1855.6
大分市	1800
大阪市	1700
宜野湾(沖縄)	1303
綾瀬(神奈川)	1300
嘉手納(沖縄)	1188
嘉手納(沖縄)	1100
大分市	880
宜野湾(沖縄)	815.3
名取(宮城)	790
立川(東京)	640
調布(東京)	556
調布(東京)	460
府中(東京)	450

PF0A、非汚染地域の70倍超も！摂津市住民の血液検査の結果

(単位は全て ng/ml)

現在、摂津市の水道水のPF0A+PFOSは環境算定目標値(50ng/l)以下ですが、地下水や水路からは高濃度のPF0Aが検出され、この水で野菜を作っている住民の血液から超高濃度のPF0Aが検出されています。また、ダイキンは1960年代後半から水や大気中に大量のPF0Aを排出しており、長年ダイキン周辺に住む住民の血液からも高濃度のPF0Aが検出されています。

●地下水・水路の水で野菜作りをしている摂津市住民の検査結果(2021年10月23日調査)

平均	PF0A	74.8	PFOS+PF0A	89.1					
住民	A	B	C	D	E	F	G	H	I
PFOS	7.5	33.3	31.8	9.3	22.1	6.4	2.1	12.6	4.0
PF0A	17.3	140.9	79.7	190.7	81.8	18.2	32.1	103.4	9.0
PFOS+PF0A	24.8	174.2	111.5	200.0	104.0	24.6	34.2	116.0	13.0

●18年以上ダイキン周辺に住み、野菜作りをしていない住民の検査結果
(2022年6月5日調査)

平均	PF0A	8.20	PFOS+PF0A	13.76							
住民	30代	60代	70代	70代	40代	80代	70代	50代	70代	70代	70代
PFOS	1.38	3.72	12.37	4.26	2.43	10.65	2.73	4.26	11.11	4.44	3.80
PF0A	2.02	3.31	15.89	6.63	3.98	11.79	6.57	5.03	13.02	17.15	4.82
PFOS +	3.40	7.03	28.27	10.89	6.41	22.44	9.30	9.28	24.13	21.59	8.62
PF0A											

●飲用水汚染が指摘される東京多摩地域(2022年調査)の平均値はPF0A 5.9、PFOS+PF0A 20.5
【国分寺市ほか87名(中間報告)】

●非汚染地域(沖縄県南城市2019年調査)の平均値はPF0A 2.7、PFOS+PF0A 9.3

摂津市内のPFASの血中濃度の高い方もしくは家族の方の症例と声

Aさん

18年以上ダイキン周辺に在住
昨年ガンを発症

「PFOAの影響があるのでは」
「証明する手立ては何もない」
「誰も答えを出してくれない」

Bさん

ダイキン周辺で育つ
子どもさんが甲状腺の病気
「自分がPFOAを浴びたことが
子どもの病気の原因ではないか」
「孫にもPFOAの影響があるの
ではないか」

Cさん

昔、ダイキンの近くに長く住んでいた
子どもさんは5歳から副腎の病気
6歳で症例の少ないホルモンの病気を発症
大学病院に10年通い、ホルモン異常の注射
をうち続けた
「ダイキンの近くに長く住んでいたことと
因果関係があるのか」

Dさん

近隣の兼業農家で極めて高い血中濃度
子どもさんに免疫の疾患

議会議案第3号

PF OA等についての健康基準を速やかに定めるとともに
健康影響調査及び疫学調査を求める意見書の件

上記の議案を摂津市議会会議規則第14条第1項の規定により、次のとおり提出する。
令和5年3月28日提出

提出者

摂津市議会議員

村上英明
松本 晁
安藤 彦
塚本 薫
崇

PF OA等についての健康基準を速やかに定めるとともに
健康影響調査及び疫学調査を求める意見書

私たちの住む摂津市では、国や大阪府の調査によって地下水や水路から全国一高濃度のペ
ルフルオロオクタノ酸（PF OA）が検出され、市民から不安の声が上がっています。

摂津市議会は昨年の3月29日、全会一致で「PF OA等による健康影響の解明及び指針
等の整備を求める意見書」を可決し、政府に送付致しました。要望項目にあつた土壌や農作物
の調査が実施されたことは評価をしますが、身体への影響や血液の分析・目標値等
は未だ明らかになっていません。市民の不安は健康への影響及び風評被害です。その解消の
ためにも健康への影響調査・疫学調査等が求められます。

PF OA等について世界的に基準が厳しくなる流れの中で、日本においては現在水の暫定
目標値しかありませんが、環境省・厚生労働省が今年1月に合同会議を行い、新たな基準づく
りなどの議論が開始されているところだと認識しています。新たな基準を作る上でも汚染実
態のある現地での情報収集・調査研究は欠かせません。担当職員を派遣されるなど地元自治
体との連携のもと実態を調査すべきです。

よって、政府に対し、PF OA等についての健康基準を速やかに定めるとともに、高濃度汚
染地域での健康影響調査・疫学調査の早急な実施を強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和5年3月28日

摂津市議会

三者（大阪府、摂津市、ダイキン）会議でのやり取り

ダイキン)

・R2年9月以降、大阪府が紹介した専門家による指導を2、3か月に一度受け、敷地以外への流出防止を確実に担保する恒久的な設備対策を行うための大規模な調査を行ってきた。さらにボーリング調査も進行中。

・今後は高濃度の箇所を矢板で囲うなどが考えられるが、工期も必要のため、段階的かつ恒久的な対策の案の提案を専門業者に求めている。

・また、これらの対策の実施にあたり、詳細は検討中（揚水の強化、矢板など）。

大阪府) 調査結果の公表時にはいつもダイキンの取組みを記載している。今回の調査結果で地下水の濃度が大きく上昇したこともあり、さらに一歩踏み込んだ対策を打ち出してほしい。

・住民への説明は、リスクコミュニケーションの観点からもしっかりと行ってほしい。

・経営トップから情報発信していくことが重要。

ダイキン)

・リスクコミュニケーションが重要であることは十分認識しているが、調査中の事項も多く、対策案も固まっていない状態。

大阪府) もし矢板の対策で敷地周辺に打った場合、敷地周辺の地下水を引き込まないことができないのではないかと。

ダイキン) まずは流出防止を自信をもって担保するのが先。敷地外についてはどうするか、府とよく協議をするよう専門家からは言われている。自主的な削減の取組で法的な義務は無く、また、土壌汚染対策法のスキームでも敷地外の土地の浄化などを行う義務は無い中でどうすべきか事例はあるか？

大阪府) 確かに法的な義務は無いが、現に高濃度で検出されていることもあり、ダイキンと住民との間で十分に協議を行ったうえで進めていくよう、よく検討してほしい。

大阪府) 下水への放流水質については、基準は無いものの、排水基準設定の考え方を参考に暫定指針値の10倍の濃度を目安に管理をお願いしているところ。水質調査結果で処理施設出口の濃度は十分低いが、下水放流水の濃度が高いときもあるので、管理を徹底してほしい。

議題 4 その他

大阪府) 今年度から公共用水域の常時監視において PFOS・PF0A の測定をローリングで実施している。府は5月に測定を実施。その結果、神崎川の新三国橋で80ng/Lと暫定指針値を超過した。そのため6月に神崎川の上流側4地点で追加調査を実施したところ、いずれも指針値を下回っていることから、濃度の上昇は一時的のものであったと考えられる。(資料4-1-1、4-1-2)

研究所) 5月と6月でPF0AとPF0Sの割合は同じか。特に6月のPF0Sの大部分が直鎖体ではないことに違和感がある。